

四阿山

あずまやさん (2354m)



今日は百名山(四阿山)と花の百名山(根子岳)を一遍にやってしまうという。老体を気遣って2000mまでゴンドラで運んでくれる。行程を組んでくれた人の親切が身に沁みる。草原が開けて明るくスキー場が多い。ちょっと暑いカラッとした空気で夏山らしく気持ちがいい。低木と笹で見晴らしのよい尾根道を進む。時々雲を纏った浅間山が見える。マツムシソウが薄紫色に咲いている。

緩やかな道のあと
山頂近くは急な登りとなる。2時間



で四阿山の頂上に。昼食でドラえもんのそばに座りごちそうをおねだりする。



根子岳に向かう下り道は泥道と木の根で滑りやすい。草原の向こうに根子岳への登り道が正面に見える。その頂上で、一人の男が頁岩の絶壁で地上を睥睨するかのように仁王立ちだ。坂本竜馬のごとくピッシとポーズを決めて

いる。国の行く末を憂いているのか晩飯のおかずを思案しているのか余人には図りがたいが。近づくとなんと我がどんぐりの隊長ではないか。敬意を表して写真を撮る。浮世の義理というやつだ。



田中澄江の花の百名山では夜中の2時に出発して朝方に帰着とあるが、懐中電灯で山もウメバチソウも楽しめたのだろうか。我々は、太陽のもとでリンドウ、ツリガネソウ、ハクサンフクロ等が咲いているのを道々楽しむ。アザミに似たつぼみの花は何だろうというのと、即座にタムラソウと答えが返る。軟弱男性隊員を無理やり引っ張っていくリーダーを鬼軍曹と思っていたが花を愛する優しい女性だったのだ。人はみかけによらない。花博士。菅平牧場の牛が見えてゴールイン。ドラえもんが用意してくれた冷たくて甘いスイカに武者ぶり付く。云うことなし。



往路反対車線で横転したトラックを対岸の火車のように見ていたが、帰りはその影響で渋滞。9時ようやく帰着。

(伴記)

